



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	43-5698-6	版	1.01
発行日	2023/07/28	前発行日	2022/03/30

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>®</sup> クリーナー30 PRO

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

工業用途

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

エアゾール： 区分1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分1

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

危険

##### シンボル

炎 健康有害性 環境

##### ピクトグラム

**危険有害性情報**

H222	極めて可燃性の高いエアゾール
H229	高压容器：熱すると破裂のおそれ
H370	臓器の障害： 心・血管系。
H400	水生生物に非常に強い毒性
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

**注意書き****一般：**

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

**安全対策**

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P211	裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
P251	使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

**応急措置**

P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P391	漏出物を回収すること。

**保管**

P410 + P412	日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。
-------------	----------------------------

**廃棄**

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

**その他の有害性**

故意に濃縮した誤使用や、成分を吸引するような使用法は、健康に有害で致死的な場合がある。

**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
リモネン	5989-27-5	70 - 90
プロパン	74-98-6	10 - 20
ポリソルベート 80	9005-65-6	1 - 7
非イオン界面活性剤	営業秘密	< 5

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

故意の誤使用や乱用によるばく露は、心筋への刺激を増加させる可能性がある。必要な場合以外は交感神経作動薬を投与すべきではない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災周辺に適した消火剤を使用する。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

アルデヒド  
炭化水素類  
一酸化炭素  
二酸化炭素  
ケトン類

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

**消火作業者の保護**

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気ですその場所を換気する。警告！モーターは着火源になる。漏洩箇所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

**環境に対する注意事項**

環境への放出を避けること。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

可能であれば漏洩した容器をシールする。漏洩容器を換気フードに置いて換気する。必要に応じて、漏洩容器や内容物の収納に適した容器が準備できるまで屋外の不透性床の上で保管する。シリンダーを閉める。漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。金属製の容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

子供の手の届かないところに置くこと。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

**保管**

換気の良い場所で保管すること。日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

**8. ばく露防止及び保護措置****管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
リモネン	5989-27-5	AIHA	TWA:165.5 mg/m <sup>3</sup> (30 ppm)	
プロパン	74-98-6	ACGIH	限界値は未設定	単純窒息剤

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

## 保護具

### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。  
間接式換気ゴーグル

### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質： ニトリルゴム

### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	気体 エアゾール
物理的状態:	エアゾール
色	淡黄色
臭い	甘い匂い。
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	-45.6 °C
蒸発速度	適用しない
引火性 (固体、ガス)	エアゾール: 区分 1

燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	3,733 Pa [試験条件： 20 °C] [詳細：混合蒸気圧（計算値）]
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	0.784 g/ml
比重	0.784 [参照基準：水=1]
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	適用しない
粘度/動粘度	適用しない
揮発性有機化合物	95.7 % [試験方法：カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出]
揮発性有機化合物	751 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細：物質のVOC]
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	データはない。
モル重量	データはない。
固形分	2 - 7 %

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

熱。

### 混触危険物質

強酸化性物質

### 危険有害な分解物

#### 物質

知見はない。

#### 条件

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

#### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

#### 吸入した場合

吸入すると有害のおそれ その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

#### 皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

#### 眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

#### 飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

### その他健康影響情報

#### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

管理濃度以上の暴露で心臓感作性が発現の恐れがある。心拍動リズムの異常（リズム失調）、脱力感、胸部痛などが発現し、死に至ることがある。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >20 - =50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
リモネン	吸入－蒸気 (4 時間)	マウス	LC50 > 3.14 mg/l
リモネン	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
リモネン	経口摂取	ラット	LD50 4,400 mg/kg
プロパン	吸入－ガス (4 時間)	ラット	LC50 > 200,000 ppm
ポリソルベート80	皮膚	非該当	LD50 > 5,000 mg/kg
非イオン界面活性剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,340 mg/kg
非イオン界面活性剤	吸入－粉塵	ラット	LC50 推定値 5 - 12.5 mg/l

	/ミスト		
非イオン界面活性剤	経口摂取	ラット	LD50 3,300 mg/kg
ポリソルベート80	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.1 mg/l
ポリソルベート80	経口摂取	ラット	LD50 20,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
リモネン	ウサギ	軽度の刺激
プロパン	ウサギ	わずかな刺激
ポリソルベート80	ウサギ	刺激性なし

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
リモネン	ウサギ	軽度の刺激
プロパン	ウサギ	軽度の刺激
ポリソルベート80	ウサギ	刺激性なし

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	モルモット	区分に該当しない。
リモネン	マウス	感作性あり
ポリソルベート80	モルモット	区分に該当しない。

## 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
リモネン	In vitro	変異原性なし
リモネン	In vivo	変異原性なし
プロパン	In vitro	変異原性なし
ポリソルベート80	In vitro	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
リモネン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリソルベート80	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 生殖毒性

## 生殖発生影響



名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
リモネン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
リモネン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 591 mg/kg/日	器官発生期
ポリソルベート80	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6,666 mg/kg/日	3世代
ポリソルベート80	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6,666 mg/kg/日	3世代
ポリソルベート80	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5,000 mg/kg/日	器官発生期

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
リモネン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。		NOAEL 非該当	
プロパン	吸入した場合	心臓感受性	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	
プロパン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
プロパン	吸入した場合	呼吸器への刺激	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
リモネン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 75 mg/kg/day	103週
リモネン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103週
リモネン	経口摂取	心臓   内分泌系   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   免疫システム   筋肉   神経系   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	103週
ポリソルベート80	経口摂取	心臓   内分泌系   消化管   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   肝臓   免疫システム   神経系   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,132 mg/kg/day	90日

## 誤えん有害性

名称	値又は判定結果
リモネン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことが

あります。 セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分1：水生生物に非常に強い毒性。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
リモネン	5989-27-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	0.702 mg/l
リモネン	5989-27-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.32 mg/l
リモネン	5989-27-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.307 mg/l
リモネン	5989-27-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	8 日	EC10	0.32 mg/l
リモネン	5989-27-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.174 mg/l
リモネン	5989-27-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.153 mg/l
プロパン	74-98-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリソルベート80	9005-65-6	カイアシ類	類似コンパウンド	48 時間	LL50	>10,000 mg/l
ポリソルベート80	9005-65-6	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EL50	58.84 mg/l
ポリソルベート80	9005-65-6	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	>100 mg/l
ポリソルベート80	9005-65-6	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EC10	19.05 mg/l
ポリソルベート80	9005-65-6	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	10 mg/l
非イオン界面活性剤	営業秘密	液状化	実験	30 分	NOEC	>2,000 mg/l
非イオン界面活性剤	営業秘密	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	11,619 mg/l
非イオン界面活性剤	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>10,000 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
リモネン	5989-27-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
リモネン	5989-27-5	実験 生分解性	14 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	>93.8 DOC除去%	OECD 303A - 模擬好気性下
プロパン	74-98-6	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	27.5 日 (t 1/2)	
ポリソルベート 80	9005-65-6	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	61 CO2発生量/理論CO2発生量%	ISO 14593 生分解性試験法 (ヘッドスペースCO2試験)
非イオン界面活性剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	60 %BOD/ThOD	OECD 301F

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
リモネン	5989-27-5	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	2100	Catalogic <sup>TM</sup>
リモネン	5989-27-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.57	
プロパン	74-98-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.36	
ポリソルベート 80	9005-65-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
非イオン界面活性剤	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.2	

## 土壌中の移動性

データはない。

## オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1 9 5 0 エアゾール

輸送分類 (IMO)：2.1 引火性ガス

輸送分類 (IATA)：2.1 引火性ガス

#### 国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

#### 国内法規制及び関連情報

##### 日本国内法規制 (主な適用法令)

消防法：第四類第二石油類

高圧ガス保安法：通商産業省告示 1 3 9 号 (平成 9 年 3 月 2 4 日) エアゾール

船舶安全法、航空法：高圧ガス

海洋汚染防止法：環境有害物質

##### 主な法規制物質

## 16. その他の情報

#### 改訂情報

セクション 1：製品用途 情報の追加.

セクション 2：環境影響ステートメント 情報修正.

項目 4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.

セクション 8：mg/m<sup>3</sup> 記号 情報の追加.

セクション 8：保護具 - 眼 情報修正.

セクション 8：ppm 記号 情報の追加.

セクション 8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.

セクション 9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.

セクション 9：分解温度 情報修正.

セクション 9：蒸発速度情報 情報修正.

セクション 9：pH情報 情報修正.

セクション 9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.

セクション 9：粘度 情報修正.

セクション 10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.

セクション 11：急性毒性の表 情報修正.

セクション 11：生殖毒性の表 情報修正.

セクション 12：成分生態毒性情報 情報修正.

セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正.

セクション 12：生態濃縮性情報 情報修正.

セクション 15：法規名 - 表 情報の削除.

免責事項：この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本 SDS の記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合

わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。